

# 「美容センサス2022年上期」から 読み解く！美容消費の兆し

対象：15～69歳男女の過去1年間における美容サロン（ヘア／エステ／リラク／ネイル／アイ）に対する意識・利用実態を調査(男女各6,600サンプル／人口20万以上都市居住) 期間：2022年2月10日（木）～2月18日（金）

## POINT

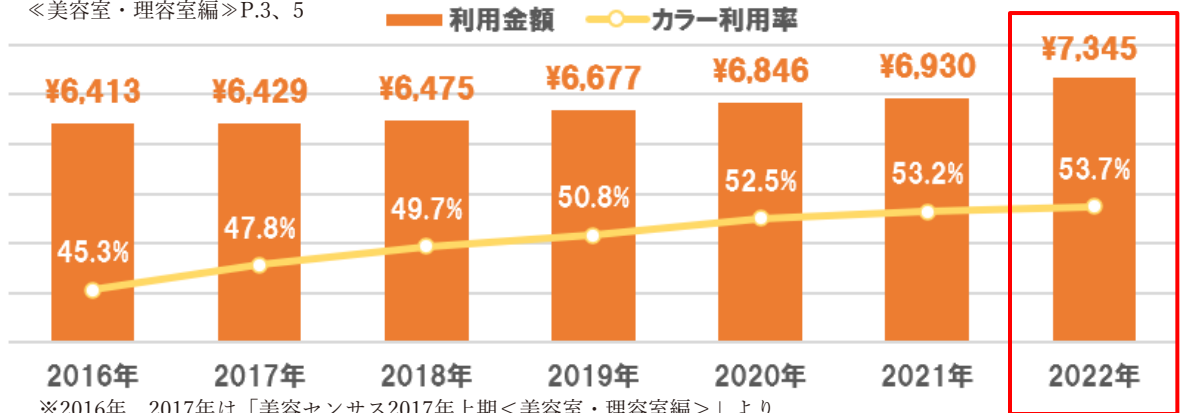
# 1

【美容室】女性の1回あたりの利用金額が、過去最高額を更新  
「カラー」利用者が引き続き増加。年間店販購入金額も3年連続で増加

女性の1回あたり利用金額は、2016年以降増加を続け、調査開始以来の最高額に。同時に「カラー」利用率も伸び続けています。年間店販購入額も2019年以降上昇しています。今回は、カラーの施術内容も初調査。若年層では、「単色カラー」に続いて多かったのは、「ブリーチ」「インナーカラー」です。

### 【美容室・女性】1回あたり利用金額とカラー利用率 (15～69歳・各単一回答)

≪美容室・理容室編≫P.3、5



※2016年、2017年は「美容センサス2017年上期<美容室・理容室編>」より  
※利用金額（美容室利用者※0円除く）、カラー利用率（美容室利用者）

### 【美容室・女性】若年層のカラー施術内容 (複数回答)

	15～19歳	20代
1位	単色カラー	単色カラー
2位	ブリーチ	ブリーチ
3位	インナーカラー	インナーカラー
4位	グラデーションカラー	ハイライト
5位	ハイライト	グラデーションカラー

≪美容室・理容室編≫P.5 ※15～69歳・カラー施術実施者

### 【美容室・女性】年間店販購入額 (実数回答)



≪美容室・理容室編≫P.8 ※15～69歳・過去1年店販購入者

## 研究員解説

### 【研究員解説】

今回、「やってみたいヘアスタイル」を初調査。1位は「ショートボブ」に！  
サロンへの来店頻度が落ち込みがちな中で、**頻繁にカットする必要があるショートカット**は「コロナ禍に強い」といわれており、コロナ前と来店頻度がほぼ変わらないと聞きます。コロナ禍で人気上昇している「インナーカラー」を組み合わせる変化を楽しむ女性も増えています。

### やってみたいヘアスタイル (TOP5) 15～39歳・複数回答

≪美容室・理容室編≫P.7

1位	ショートボブ
2位	ヨシンモリ (韓国風巻き髪)
3位	切りっぱなしボブ
4位	ミディアムレイヤー
5位	ストレートロング

(『ホットペッパービューティーアカデミー』研究員 田中 公子)



(写真) ALBUM GINZA

左・右) 伊藤 佑記さん 中) 深町 隼輔さん

※ALBUM GINZA  
HOTPEPPER Beauty AWARD 2022  
ベストサロン部門[10席以上]GOLD受賞

POINT  
2

メンズ美容が引き続き好調。脱毛は、2年連続で利用金額が増加！  
初回のサロン選びは、料金よりも「口コミ」「スタッフ」を重視！

【脱毛・男性】1回あたり利用金額

15～69歳・実数回答 ※脱毛サロン利用者  
《エステサロン[脱毛]編》P.4



【脱毛・男性】初回来店前にサロン選びで重視したポイント

15～69歳・複数回答 《エステサロン[脱毛]編》P.9 ※脱毛サロン利用者

1位	友人・知人の口コミが良い
2位	ネットの口コミが良い
3位	ネットに掲載されているデザインやスタイルが良い
4位	ネットに掲載されている情報で自分に合いそうなスタッフを見つけられる
5位	料金がリーズナブル

【研究員解説】今回は、脱毛のほかにも「美容室」「ネイル」「フェイシャル」「アイビューティー」で利用金額が前年から増額。男性の美容意識の高まりがうかがえます。また、脱毛の「初回来店前のサロン選びで重視したポイント」からは、男性は「料金」以上に、「口コミ」やネットに掲載されている「デザインやスタイル（※写真等含む）」や「スタッフ」の情報を重視していることがわかります。つまり男性のお客さまの集客には、口コミへの丁寧な対応やネットでの情報をより充実させていくことが重要と言えます。（『ホットペッパービューティーアカデミー』研究員 田中 公子）

【各サロン・男性】1回あたり利用金額

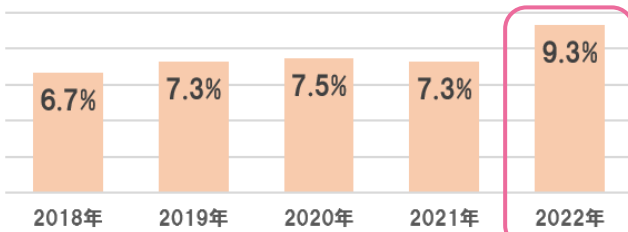
ジャンル	利用金額	前年比
美容室	¥4,553	¥189増
ネイル	¥3,945	¥324増
フェイシャル	¥4,978	¥131増
脱毛	¥7,043	¥366増
アイビューティー	¥4,471	¥132増

POINT  
3

2022年も「目元美容」に引き続き注目！  
アイビューティーサロンが過去5年で最も高いスコア  
まつげパーマの利用が引き続き増加！

《アイビューティーサロン編》P.3

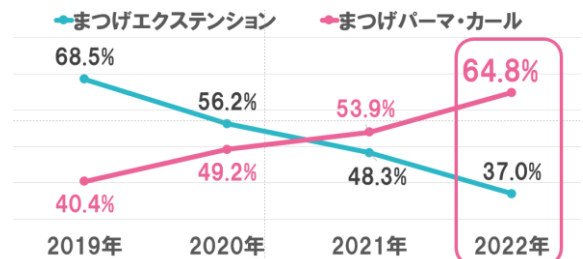
【アイビューティーサロン・女性】利用率



※15～69歳・各単一回答

《アイビューティーサロン編》P.5

【アイビューティーサロン・女性】メニュー利用率



※15～69歳・サロン利用者・複数回答

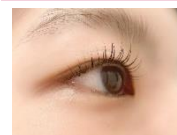
【研究員解説】

マスクから見える「目元美容」はコロナ禍で注目されていますが、引き続き人気です。サロンの利用でも、アイビューティーサロン利用率が過去5年で最も高く、利用金額も増えています。ここ数年で人気が出ている「まつげパーマ」は、カールが取れてきてもビューラーで直せるなど、サロンへの来店頻度が下がっても自宅でメンテナンスしやすいメニューです。「ノーメイクでも、マスクがあるから目元だけ整えておけば…！」というのはコロナ禍で生まれた新しい美容の価値観でしょう。また、サロンで眉を整える女性も前年から増加。アイブロウ専門サロンや、美容室でアイブロウメニューを取り入れるところも増えています。

（『ホットペッパービューティーアカデミー』研究員 田中 公子）

※写真の二次転載禁止

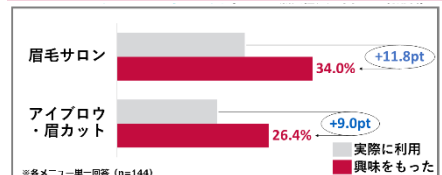
まつげパーマ



まつげエクステンション



【眉メニュー】Z世代のニーズ（15～24歳女性）  
※アイビューティーサロン利用者



「コロナ禍の美容トレンド調査」(2022年3月)